

# 授業科目 NO. 605 災害看護論

## Disaster Nursing

授業の形態： 講義

単位数（時間数）： 1単位（15時間）

開講年次・学期： 2年次・後期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 災害看護、災害、備え、災害時要配慮者、フィールドワーク

### 1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

### 2 学習目標

#### 1) 一般目標（GIO）

災害種類・災害サイクルにおける身体的、精神的、社会的課題を理解し、被災者及び援助者の特性を踏まえた必要な災害各期の看護援助内容を学修する。

#### 2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 災害サイクルの全てのフェーズにおいて、多様な文化・社会的背景および価値観をもつ人を尊重し、看護師として権利擁護するための知識・技術を述べることができる。(①)
- (2) わが国において災害看護が必要とされる社会的背景を理解することができる。(③)
- (3) グループワークから、災害時要配慮者に対する避難所、避難行動の課題と解決策を探ることができる。(③④)
- (4) 災害時要配慮者に合わせた配慮について議論することができる。(②③)
- (5) 社会において災害看護に求められる役割、連携、倫理的配慮、コミュニケーション能力、実践を理解することができる。(②③)

### 3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

## 4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	60%
実習成績	%
レポート	%
授業態度	20%
小テスト	20%
その他(プレゼンテーション)	%
合計	100%

(特記事項)

## 5 教育担当者

科目責任者：佐藤 大介

非常勤講師 佐藤 大介

## 6 教育担当者の実務経験

看護師としての実務経験あり。

## 7 教科書

酒井明子ほか：災害看護-看護の専門知識を統合して実践につなげる 改訂第4版、南江堂、2022

## 8 推薦参考書

指定しない。

## 9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

初回講義までに過去に発生した災害が住民の生命や生活に及ぼした影響について事前学修する。わからない用語やより深く知りたいことが生じた場合には、自分で調べたうえで授業を受けること。その作業に要する時間は、事前学修・事後学修として計45分程度必要とする。

## 10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

講義毎に課題の振り返りを行い、質問にはいつでも応じます。

## 11 履修上の注意事項

看護師としての経験を生かして、実践的な講義・演習を行います。災害や災害看護に関する社会状況を勘案して、内容を変更する場合があります。

## 12 オフィスアワー等

質問にはいつでも応じます。

佐藤大介 : [satodai@u-fukui.ac.jp](mailto:satodai@u-fukui.ac.jp)

## 第2学年

## 災害看護論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	10月06日(月)	3	講義	ガイドランス/災害・災害看護の歴史及び定義、災害サイクル・災害関連死	小テスト		佐藤非常勤講師
後	2	10月06日(月)	4	講義	災害時の支援体制、災害に関する法律と制度、倫理的課題	小テスト		佐藤非常勤講師
後	3	10月20日(月)	3	講義	被災者・支援者の支援及び心理	小テスト		佐藤非常勤講師
後	4	10月20日(月)	4	講義	地域防災と病院防災	小テスト		佐藤非常勤講師
後	5	10月27日(月)	3	講義	避難所・応急仮設住宅の看護、要配慮者へのケア(グループワーク)			佐藤非常勤講師
後	6	10月27日(月)	4	講義	避難所・応急仮設住宅の看護、要配慮者へのケア(グループワーク)			佐藤非常勤講師
後	7	12月01日(月)	3	講義	復興支援時の諸問題と看護介入、災害対応政策における課題			佐藤非常勤講師
後	8(0.5)	12月01日(月)	4	講義	まとめ(45分)			佐藤非常勤講師